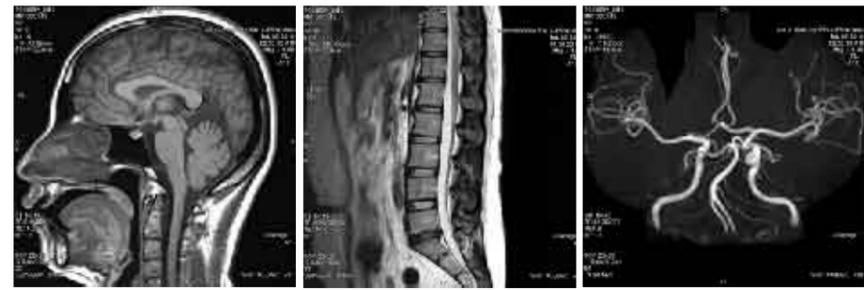


新型MRIから得られる画像例



頭部MRI矢状断像 腰椎 頭部非造影MRA(血管撮影)



乳房撮像コイル

乳房をMRI撮影する装置です。乳房X線撮影装置(マンモグラフィ)のように圧迫板で押さえつけることなく検査できるほか、より広範囲の撮影ができます。



このような画像を、短時間・広領域・高分解能で撮影できます。特に血管撮影は、造影剤を使わずに全身の血管を選択的に描出できます。

撮影画像をお渡しします

市民病院では、MRI検査を受診された方に、画像データをCDに記録し、人間ドック受診の方は無料で、一般の診察の場合は希望者に2,100円(税込)でお渡しします。

心臓ペースメーカーやその他の磁気に反応する金属が体内にある場合などは、MRI検査が受けられないことがあります。くわしくは病院でおたずねください



~より信頼される病院づくりを目指して~

新型MRIを導入しました

信頼される病院を目指して  
近年、地方の公立病院を取り巻く環境は、国の医療費抑制政策や新医師臨床研修制度による医師不足など、非常に厳しい状況にあり、加東市民病院もその例外ではありません。そのような中でも、市民病院は地域の基幹病院として、住民のみならず地域の信頼を得ながら、今後も継続して地域に必要とされる医療を提供していくため、昨年3月に策定した「加東市民病院経営健全化基本計画」に基づき、さまざまな取り組みを進めています。このたびのMRIの更新など、診療機器の充実をはじめ、昨年12月に導入したフィルムレスシステムや今後導入を目指す電子カルテシステムにより業務の効率化を図るほか、病棟のアメニティ問題の解決にも取り組み、医療環境・療養環境を整えていきます。また、院内での医療サービスだけでなく、高齢化が進む北播磨地域において、地域でリハビリを実施している医療機関や福祉施設等との連携を図る「北播磨地域リハビリテーション」の広域支援センターとして中核的な役割も担っています。市民病院は、「地域のみならず、信頼性の高い医療の実

**医師紹介**  
平成21年4月から加東市民病院に勤務しています。

**外科 金保 医師**  
学会専門医: 日本外科学会認定医・同専門医、日本脈管学会専門医  
学会評議員: 日本脈管学会評議員、日本静脈学会評議員  
専門領域: 脈管疾患全般(血管外科を含む)

平成21年4月から加東市民病院に勤務しています。

**外科 利幸 医師**  
学会専門医: 日本外科学会指導医・同専門医、日本消化器外科学会指導医・同専門医、日本胸部外科学会指導医・同認定医、日本食道学会認定医  
学会評議員: 日本消化器外科学会評議員  
専門領域: 外科・消化器外科

平成22年1月から加東市民病院に勤務しています。

専門は外科・消化器外科で、特に以前勤務していた大阪府立成人病センターにおいて食道癌の外科的治療を積極的に行ってきました。これからもチームワーク医療を重視した外科の診療を通して地域医療に貢献していきたいと思っております。よろしくお願いたします。

加東市民病院は、最新鋭の磁気共鳴画像診断装置(MRI)を導入し、1月25日から稼働させています。旧装置に比べて格段に性能が向上しており、同程度の機能をもつ装置の導入は、県下の公立病院では加東市民病院が初めてとなります。今回はこの新型MRIや、地域のみならず信頼される病院づくりを目指す市民病院の取り組みについて、ご紹介します。

**新型MRIのご紹介**  
磁気共鳴画像診断装置(MRI)は、磁石と電波を使って体のさまざまな断面画像を撮影する機器です。X線撮影やコンピュータ断層撮影(CT)と違い、放射線による被曝がありません。新しいMRIの特徴は次のとおりです。  
広範囲にわたって高精度な画像を提供できます。これまで制限のあった腹部や循環器の撮影にも対応でき、全診療科に適用した全身検査が可能となりました。また、旧装置に比べて鮮明で詳細な画像が得られるためより細かな病変まで診断可能です。造影剤を使わずに全身の血管が撮影できます。造影剤による副作用の心配がありません。

静音化が図られ、圧迫感が改善されました。騒音が抑えられ、トンネル部も広く短いため、リラックとして検査を受けていただけます。検査時間も短縮でき、受診者の拘束時間の大幅な削減とともに、従来よりも多くの検査をこなすことができることから、地域医療への一層の貢献が期待されます。

**人にやさしい装置です**  
MRI検査には「狭い、うるさい」というイメージがあり、造影剤の使用に対する不安もありました。新しい装置は、トンネル部が広く、音は文化ホールなどでのプザーを想像してください。検査時間も大幅に短縮され、40分~1時間程かかっていたものが、20~30分でできるようになりました。何より、今まで対応できなかった病変に対応できます。この最新装置を使い、迅速に適切な画像を提供できる技術を磨き、質の高い地域医療の維持に貢献するため、誠意をもって日々の検査にあたっています。

職員一丸となって進めていきます。  
問い合わせ  
加東市民病院  
☎42・5511